2026 年 3 月 23 日

株式会社 Space Compass

SWISSto12 SA

Space Compass と SWISSto12 による
GEO 光データリレー衛星（1 号機）の調達契約の締結について

株式会社 Space Compass（以下「Space Compass」）と SWISSto12 SA（以下「SWISSto12」）は、GEO（静止軌道）光データリレー衛星（1 号機）の調達契約を締結しました。本契約は Space Compass が展開する光データリレーサービスの実現に向けた重要なマイルストーンとなります。

これにより、従来は数時間を要していた観測衛星等からのデータ伝送について、GEO 衛星経由での大幅な時間短縮が可能となり、観測衛星データの即時性向上が期待されます。

SWISSto12 にとっても、本契約は、同社の小型 GEO 衛星プラットフォームが、多様な宇宙ミッションに対応可能であることを示すものです。特に、カスタマイズ性の高いペイロード技術と、光通信機能を統合することで、幅広いミッションへの貢献が期待されます。

Emile de Rijk（SWISSto12 CEO）コメント

「Space Compass とのパートナーシップ、そしてマルチオービットでセキュアな宇宙インフラを構築するという共通のビジョンを実現できることを大変嬉しく思います。HummingSat は、LEO-GEO 間の光データ中継用ペイロードを搭載することで、その柔軟性と、意義あるイノベーションを可能にする力を改めて示すことになります。」

小松 大実（Space Compass 代表取締役 Co-CEO）コメント

「本契約は、リアルタイムな観測衛星データの活用を可能とする光データリレーサービス実現に向けた重要な一歩です。SWISSto12 との協業により、GEO 光データリレー衛星の開発を具体的に前進させることができることを大変心強く感じています。Space Compass は、社会課題の解決に寄与する通信インフラの実装を着実に進めてまいります。」

今後の展開

Space Compass は、光データリレーネットワークを通じて、リアルタイムな観測衛星データの活用を可能とする宇宙通信インフラを実現進めています。Space Compass のビジョンである宇宙統合コンピューティング・ネットワーク構築に向けた取り組みを加速してまいります。

株式会社 Space Compass について

株式会社 Space Compass は NTT 株式会社とスカパーＪＳＡＴ株式会社が設立した合弁会社です（代表取締役 Co-CEO 小松 大実、同 堀 茂弘）。宇宙統合コンピューティング・ネットワークの構築により、持続可能な社会を実現します。この構想の第一歩として、宇宙データセンタ（宇宙における大容量通信・コンピューティング基盤）、宇宙 RAN（Beyond5G/6G におけるコミュニケーション基盤）の事業・サービスに取り組んでいます。今後は IOWN などの革新的な技術も活用し、さらなるサービスの強化をめざしていきます。https://space-compass.com

SWISSto12 SA について

SWISSto12 は、特許取得済みの 3D プリント無線周波数（RF）技術を活用し、宇宙産業の発展を支えるリーディングカンパニーです。同社は、あらゆるプラットフォーム、あらゆるミッション、あらゆる軌道に対応可能なペイロードを開発・提供しており、第三者の衛星への搭載に加え、自社開発の小型静止軌道（GEO）衛星「HummingSat」にも対応しています。2011 年に設立された SWISSto12 は、世界の主要な衛星事業者との間で多数の契約実績を有しています。https://www.swissto12.ch

本リリースは、NTT グループ各社等が展開する宇宙ビジネスのブランド「NTT C89」およびスカパーＪＳＡＴの宇宙事業ブランド「JSAT」の取り組みの 1 つです。

https://group.ntt/jp/aerospace　　https://www.skyperfectjsat.space/jsat